みろく自然公園写生大会

炎天下の昨年七月二十四日、大川町にあるみろく自然公園において、さぬき市文化協会大川支部主催のみろく自然公園写生大会が開かれ、二十九名の児童・園児が参加しました。

当日は朝倉忠夫支会長が主催者としてお礼のあいさつを行いました。続いて審査委員長である十河安則先生から絵を描くにあたってのご指導を頂いた後、参加した二十九名の児童・園児たちは園内のポイントでキャンバスに向かって絵に挑戦しました。

参加した児童や園児たちの描いた絵は十一月七日、21世紀館さんがわで表彰式が行われ、審査委員長の十河安則先生から参加者全員の絵について講評があり、児童や園児、保護者の人たちも喜んでいました。

▲写生する児童

▲十河安則先生による21世紀館での表彰風景

受賞者は次のとおり

みろく自然公園写生大会 受賞者名簿

幼稚園の部

金賞 寒川幼稚園 石神芹菜 殿
銀賞 津田幼稚園 吉田佳乃 殿
銅賞 寒川幼稚園 野崎青空 殿

小学校低学年の部

金賞 富田小学校三年 秋朝春菜 殿
銀賞 富田小学校一年 矢木明日翔 殿
銅賞 神前小学校二年 野崎 怜 殿
石田小学校二年 吉鷹知将 殿

小学校高学年の部

金賞 津田小学校五年 浜田美々 殿
銀賞 津田小学校四年 石井颯人 殿

金賞はNHKの賞状になります。

みろく写生大会

富田小三年
秋朝春菜

わたしは、絵がすきなので、学校での図工の時間がとても楽しみです。だから、夏休みにあったみろく公園での写生大会にも自分からさんかしました。

何をかこうか決める時に、木のいっぱい集まっているところにしようか、ドームの方にしようか、旧恵利家住宅の方にしようか、わたしはいろいろとまよっていました。けれども、わたしは、花をかくのがすきだからはすの花の絵をかくことにしました。

わたしは、赤白のベンチを画用紙の中心にして、そのまわりに木や岩をかきました。はすの花の絵ができあがってみてみると、自分ではうまくかけたなあと思いました。上手にできたと思いました。

表しょうしきが21世紀かんさんがわでありました。わたしは、お父さんといっしょにさんかしました。わたしは、この写生大会で金賞や銀賞があるなんて知りませんでした。だから、わたしが、金賞をもらった時はとてもうれしかったです。

わたしは、これからもどんどん絵をかいて、自分の力をのばしていきたいです。

『サンポートホール高松』を見学して

朝倉忠夫

去る七月二十七日、さぬき市文化協会役員等一行が新装になった、高松市文化芸術ホールを見学いたしました。

財団の城下課長に案内いただき施設内を見学致しましたが、高松市が『市民参加の創造空間と交流の場』として又『銀河のようにきらめく文化の殿堂』と位置づけるだけあって、その内容たるや素晴らしく超近代的なもので目を見はるものがありました。

この施設は、高松市、香川県、民間の三者により建設されたもので、主力の高松市が二五〇億円を投入し、高さ一五一米のシンボルタワーを始め一五〇〇席の大ホール、三一二席と三〇八席の第一、第二小ホールやこれに付属する、楽屋、ウォーミング室、リハーサル室等が完備しており、九つの会議室や市民ギャラリーなど、その機能は近代技術の粋を駆使したもので、香川の玄関口に相応した素晴らしい施設に一同は圧倒され只々驚嘆いたしました。さらに、施設周辺の環境も素晴らしく、眼下に高松城址、玉藻公園を借景として、紺碧の瀬戸の海、点在する島嶼美や源平の古戦場屋島を軒場に眺望する景観は筆舌につくせないものがありました。

一同は、無限の未来に向かって飛翔する四国の玄関口、高松市の、文化、芸術振興の拠点施設として大きく躍進することを祈念して帰途につきました。

さぬき市においても、市民意識の高揚や市民の連帯感醇成のための施設として『さぬき市文化会館』の建設を、自治会連合会など五団体の合意により要望をつづけておりますが、実現への道程は尚険しいものがあります。しかし、合併のシンボル施設として、芸術、文化の振興や交流、創造をはじめ、生涯学習推進のため早期の建設が望まれています。

▲サンポートホールのステージ